

香取遺産

Vol.111

園生涯学習課 ☎(50)1224

来迎寺の宝篋印塔
新たに市指定文化財に



▲左から、府馬左衛門尉時持塔・神野角助塔・守庚申塔

宝篋印塔は、宝篋印陀羅尼經を納める塔で、平安時代に我が国に伝わったと言われています。鎌倉時代以降には全国的に広まり、供養塔や墓石などにも使われるようになりまし。多くは、基壇(返花座)・基礎・塔身・笠・相輪を積み重ねる形になっています。

今回紹介する宝篋印塔は貝塚区の来迎寺墓所にあり、写真左は高さ244cm、写真中央は高さ249cmです。この2基は、府馬左衛門尉時持の子・勝若が、父・府馬時持と伯父・神野角助の供養塔として造立したと伝えられ、神野角助塔には「為月山禅心居士也/慶長七年(1602)三月」の銘があります。写真右は神野角助塔奥の個人墓地内にあり、高さは132cmで、庚申信仰によって建てられたものです。旧貝塚村の善女10余人が二世安楽のため、3年一座の「守庚申」を執り行い、その成就にあたって天正4年(1576)に造立したことが記さ

れています。守庚申は庚申信仰の古い呼び方で、宝篋印塔による庚申塔は、本例を含めて全国で6例が確認されているのみです。また、女性の庚申信仰であることも注目されます。これらの3基は、銚子で産出する軟質砂岩を使用し、基壇が省略されること、塔身が大きく縦長であること、笠の軒と隅飾突起が直線的に開くため、笠全体が逆台形になること、相輪が太くて短く、九輪や請花は省略するか線刻で表現することなどが大きな特徴で、全体的にざんぐりした形になっています。加工しやすい反面、脆弱で細かい装飾ができないという石材の特性によるものと考えられます。砂岩で造られたこのような形の宝篋印塔は、東総地域から霞ヶ浦沿岸地域に分布し、戦国時代から江戸時代初期にかけて造立された地域色の強い石塔で、下総型宝篋印塔と呼ばれています。3基は、平成27年7月30日に市文化財に指定されました。

佐原工芸の達人になる

園商工観光課 ☎(50)1212

市では、県が実施している秋の観光キャンペーンにあわせ、佐原工芸の体験教室を開催します。

メニューは、千葉県指定伝統的工芸「佐原張子」、卵の殻で作る「エッグアート」、切り出す線の妙「切り絵」、粘土で作る「ミニチュアフード」、手作業で編む「佐原ラフィア」の5コースです。

■期日・内容

- 佐原張子…10月31日(土)、11月29日(日)
- エッグアート…11月14日(土)、12月12日(土)
- 切り絵…10月24日(土)、12月5日(土)
- ミニチュアフード…11月21日(土)、12月19日(土)
- 佐原ラフィア…11月28日(土)
- 時間 10時40分～12時10分
- 場所 佐原町並み交流館2階
- 参加費 各コース800円
- 定員 各回30人(エッグアート、ミニチュアフードは15人。キャンセル不可)
- 申込 実施日の1週間前までに
佐原町並み交流館 ☎(52)1000



文芸

作品募集

はがき1枚に俳句2句・短歌2句(または「短歌」の係まで。毎月15日までの到着分)12月(10日締切)を審査し、翌月号に掲載。掲載される作品は、選者により評を踏まえて添削される場合があります。

香取俳壇

谷本 元子選

百寿へと母の一日や白木樫

嶋田 武夫(下飯田)

評 現在、白寿のお母様への称賛の一句。百寿・一日・白木樫の文字に組まれた数字の妙が効いている。百引く一は白…つまり九十九歳(白寿のお母様を、美しい白木樫と重ね合わせて詠まれた絶妙な一句。

青田波佐原囃子が風に乗り

黒田 昭二(佐原イ)

踊る姿しなやかなりし夏の宵

菅谷 律子(小見川)

八月や折っても足らぬ千羽鶴

奥村 利夫(一ノ分目)

鳳仙花弾けて次の世に繋ぐ

尾形 正子(木内)

上を向いて歩こう今宵名月

加藤 裕太(佐原イ)

香取歌壇

稲村 恒次選

・旧仮名遣い

喜寿を祝ぎ贈りくれたる紫のちゃんちゃんこ
うれし悔いなく生きむ 長嶋 理子(高萩)・

評 「紫のちゃんちゃんこ」の具体が効果的で、欲びがあり感謝があり、和やかな温かい家族の雰囲気満ちて癒される。因に還暦は赤、古稀・喜寿が紫、傘寿・米寿が黄、卒寿・白寿が白のように配られているようだ。

上梓せし妻の俳句を霊前に声上げて読む読経
に替えて 繪鳩 昌之(府馬)

夕風にさわぐ稲穂は色づきて豊作伝ふるにほ
ひを放つ 篠塚 みのり(小見川)・

梅雨明けを待ちて吊さむ風鈴は夫の好みしや
さしき音色 菅谷 ふさ(久保)・

羊羹を切りたるやうに黒々と畦の仕上がる前
の水田は 西岡 由起(小見川)・

農作業終えて八十路の老い二人しみじみ語る
もう限界と 加瀬 武子(高萩)

編集後記

20年以上も昔の話です。栗源の夏まつりで、私は盆踊りに参加していました。おぼろげですが、やぐらを二重・三重に囲んで踊る人たちの輪に加わり、大音量の曲に合わせて体を動かしていたのを覚えています。その中には母もいました。婦人会で揃いの浴衣を着て踊る姿を見て、いつか自分もあの浴衣を着るのだろうと漠然と思っていました。結局、時代の流れとともに栗源の夏まつりから盆踊りは消え、婦人会も解散。記憶の中の浴衣を着る機会が失われました。

ですが今、祭りの会場に足を踏み入れると、昔懐かしい手作りの宴がそこにあります。全く変わらないものは少なく、けれど寂しいばかりではなく、気づけばカメラを手に祭りを満喫していました。(H)

今月の納期限

9月30日(水)

- 固定資産税 (3期)
- 国民健康保険税 (3期)
- 介護保険料 (3期)
- 後期高齢者医療保険料 (3期)

今月の休日納税相談日

9月27日(日)

かとり

平成27年(2015)9月15日号 No.228

編集 香取市役所総務企画部秘書広報課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp